

## クリス・ウィルソンさん

今回は、アメリカ・インディアナ州から来県し、日本で結婚・出産し、大工として自分の家を作るという夢を実現されたクリス・ウィルソンさんに自宅でお話を伺いました。



どうして日本に、そして信楽に住めるようになったんですか。

大学で焼き物を勉強してたんですが、文部省からの援助で日本の焼き物を学びに来たんです。卒業後、いろいろ考えたすえ、信楽の笹山先生が私と似た感じの作品を作っておられたので、できたら笹山先生に師事したいと思ったんです。そしたら大学の先生が、「僕の友達だから」と、すぐ連絡をとってくださったんです。

聞くところによると、大工さんの修業をされ、お家もご自身で建てられたと伺ったんですが。

毎日ろくろを回しながら窓外の自然を眺めてたら、外に出たくなりましてね。体を使って外の仕事がしたい、「クリエイティブな仕事ができたらな」と思ったんです。知り合いの大工さんに聞いてみたら、「明日、朝から来い」と。それで次の朝から私の大工修業が始まったんです。そして自分の家を作るというのが夢になったんです。

実際、大工だと、電気屋さん、水道屋さん...毎日いろんな方との出会いもあり、それに、今日は階段、明日は床張りという毎日仕事が変わるでしょう、そういうところがとても私には合ってたような気がします。家を作るのに、3年くらいかかると言われてたんですが、私は大工用語の金槌だとか、釘だとか、それに木の種類も知らないし、日本語もおぼつかなかったので、5~6年かかりました。

日本の伝統的なところとアメリカ的なところが相まって、素敵なお家ですね。あとは何もかもスケールが大きい。テレビも時計も大きいですね。

自分のイメージを実現するには、自分で建てるしかないと思ったんです。大工しながら、どんな家を作るのかなと思って 日本建築で木が見えてるのが好

きなんです、一つ一つの部屋が小さいのは嫌なので、オープンな部屋にしたいと思ったんです。自分の体も大きいので冷蔵庫も車も何でも大きいものを買ってくるんです(笑)。

お子さんがいらっしゃると聞いたんですが...

上が10歳、下が5歳の2人です。この家の木材を購入してから、妊娠したことが分かったんです。赤ちゃんは欲しかったけど、なかなかできなかったの、諦めて、「できないのなら家を建てよう」としてたんです。ですから赤ちゃんができ、家の図面も変えたんです。子ども部屋が必要になってね。家を建てる時も、子どもを抱きながらね。今思っても「よくやったなー。もう二度と出来ないな。」と思います。

クリスさんの思いや思い出が一杯つまったお家ですね。異国で子どもを、しかも家を建てながら育てられた。すごく大変だったと思うんですが、不安なことなんてなかったのですか？

私はこちらに親戚がないから、主人も私もそうですが、子どもも淋しいだろうなって思います。でもその分、友達が多いんです。この家には友達がよく来るし、困ったら助けてくれます。友達は私にとってかけがえのない財産だし、大勢の友達に囲まれてることが一番の幸せです。そういう点、ここは田舎でみんな知ってるので、友達に囲まれて、淋しさがなくなりましたね。

滋賀県に対する印象は？

私は信楽しか住んでないし、日本もここ以外はあまり知らないの。

じゃ、クリスさんには日本イコール信楽ですか。

そうなるね。人に言わせると、ここは日本じゃない、「信楽だ」って(笑)。でも私には信楽が自分の世界になってるんですよ。もちろん他の国にも行ってるので、ここだけだったら考え方が狭くなるけど、他のところも知ってるので大丈夫です。

他のところもたくさん見たなかで、クリスさんは最終的に信楽を選ばれたということですね。

そうです。みんなと仲良くでき、綺麗なところなので、ずっと住んでいきたいです。

いろいろお話をうかがって見て、クリスさんはとても前向きでバイタリティーが溢れていますね。

できるだけ生活をエンジョイし、楽しくしたいから。私の主人も気楽で、自分も楽しみたいから、何をやってもOK。大工になる時も相談しなかった。「明日から大工になるよ」「えっ、どうしたん、がんばれー」でしまい。

ご主人が、クリスさんのことを信頼されていて、サポートしようという気持ちがあるからでしょうね。素敵なお主人ですね。

そういう気持ちの人だから結婚しようと思ったんです。私は自分のしたいことを「したい」じゃなく、「する」んですから。それに合わせてくれる人でないと結婚できない。

もう焼き物はされないのですか。

時々、窯炊きとかには手伝いに行きますが、自分自身は何年も作ってないんです。焼き物を見に行ったり、友達の展覧会に行ったり、美術館に行ったりすると作りたくなって、土をさわりたいくなります。そのうち自分で登り窯を作るかもしれませんよ。

最後に次の夢、目標をお聞かせください。

今のところ、仕事場を建てること。でも夢って突然出て来るんですよ。夢がなかったら人生、面白くないですよ。

これからたくさんの夢を叶えていってくださいね。ありがとうございました。